

平成30年度

地方独立行政法人福岡市立病院機構に
係る業務実績に関する評価結果報告

福 岡 市

目 次

はじめに	1
第1項 全体評価	2
第2項 項目別評価	4
(1) 大項目評価	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	4
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	6
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	7
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	8
(2) 小項目評価	
福岡市立病院機構の概要	13
全体的な状況	15
項目別の状況	22
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 医療サービス	22
2 患者サービス	40
3 医療の質の向上	48
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	58
2 事務部門の機能強化	60
3 働きがいのある職場環境づくり	62
4 法令遵守と公平性・透明性の確保	64
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	
1 経営基盤の強化	66
2 収支改善	72
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	
1 福岡市立こども病院における医療機能の充実	84
2 福岡市民病院における経営改善の推進	86
第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画	88
第6 短期借入金の限度額	91
第7 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	91
第8 剰余金の使途	91
第9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項	92
〈参考資料〉	
○地方独立行政法人福岡市立病院機構 業務実績評価の方針	93
○地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領	95

はじめに

福岡市は、地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、地方独立行政法人福岡市立病院機構の平成30年度における業務実績の全体について総合的に評価を実施した。

評価に際しては、地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会において、評価に関する意見を聴取し、平成30年6月22日に決定した「地方独立行政法人福岡市立病院機構評価の方針」及び「地方独立行政法人福岡市立病院機構年度業務実績評価実施要領」に基づき評価を行った。

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 委員名簿

	氏 名	職 名
委員長	寺 坂 禮 治	福岡市医師会 副会長
副委員長	福 田 治 久	九州大学大学院医学研究院 准教授
委 員	藤 也 寸 志	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター 院長
	大 和 日 美 子	福岡県看護協会 会長
	行 正 晴 實	公認会計士

第1項 全体評価

評価結果及び判断理由

〈評価結果〉

第3期中期目標期間の2年目である平成 30 年度の業務実績に関する評価については、小項目評価の結果を踏まえ、第1の大項目評価は「評価A」、第2、第3及び第4は「評価B」となる。

この大項目評価の結果を踏まえ、両病院ともに、医療水準のさらなる向上を目指し、医療機能の強化や経営の効率化等に取り組んでいることなどから、平成 30 年度の業務実績は、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」と評価する。

〈判断理由〉

福岡市から独立した法人として、理事長を中心に、両病院と運営本部が一体となった経営体制を構築し、運営管理の徹底を図っている。

福岡市立こども病院においては、これまで培ってきた小児医療及び周産期医療のさらなる充実を図るとともに、病床再編を実施するなど患者ニーズや医療環境の変化に即した診療体制の見直し等を行っている。

福岡市民病院においては、4疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞及び糖尿病)への対応を中心に高度専門医療のさらなる充実を図るとともに、救急医療体制及び感染症医療機能の充実等を行っている。

経営収支面では、人員の適正配置等により、病床利用率の向上や手術件数の増加が図られるとともに費用削減にも取り組んだ結果、当期純利益が、福岡市立こども病院において、11億4,300万円余、福岡市民病院において3,800万円余となっており、経営基盤の強化が順調に図られている。

全体評価にあたって考慮した内容

〈特筆すべき取組み〉

〈福岡市立こども病院〉

- ・NICU(新生児集中治療室)及びGCU(回復治療室)の病床再編や重症アレルギー患者を対象に負荷試験を開始するなど、効率的な病床稼働へ向けた取組みを進めた。
- ・「福岡県小児等在宅医療推進事業」の拠点病院として、退院前・退院後の患者宅への訪問による自宅の環境調整などに取り組んだ。
- ・HCU(高度治療室)への保育士配置や外来フロアにて無料Wi-Fiのサービスを開始した。
- ・「インターンシップ・病院説明会」の開催の増加やSNSを活用した人材募集などに取り組んだ。
- ・重症患者の多いPICU(小児集中治療室)に専任の薬剤師を配置したほか、HCUにも薬剤師を配置し、ハイリスク薬の監査や中心静脈栄養の輸液調整などを実施した。

〈福岡市民病院〉

- ・脳卒中領域において、発症後早期のt-PA療法(血栓溶解療法)や血栓回収療法等の血管内治療や外科的治療など、急性期の治療を包括的に実施した。
- ・救急専門医の増員とシフト制勤務の導入、夜間看護補助者増員による看護体制の充実や夜勤看護師の負担軽減などに取り組んだ。
- ・医療安全対策の地域連携の開始や医師の医療安全に対する意識向上に重点的に取り組んだ。

評価にあたっての意見, 指摘等

《福岡市立こども病院》

・収益が年間で8億円増というのはかなりの実績であり, また, これだけの当期純利益を出していることは素晴らしい。

・症例数が全国で上位にあるものが多いことは素晴らしい。

・中期目標期間業務実績評価の際には, 期間中高い評価があったことも重視していただきたい。

《福岡市民病院》

・逆紹介率が非常に高く, 新規入院患者数の増や医師会からの高い評価にもつながっている。

《両病院》

・数値を明確に出していただくと評価しやすい。クリニカルパスの使用率など数値化できるものはもっとあると思う。これらの積み上げが進捗状況を示す客観的なデータとなるので, できるだけ数値化することを検討していただきたい。

第2項 項目別評価

(1) 大項目評価

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

① 評価結果 A (計画以上に進んでいる)

S	A	B	C	D
特筆すべき進捗状況にある(特に認める)	計画以上に進んでいる(120%以上)	おおむね計画どおり進んでいる(100%以上 120%未満)	やや遅れている(100%未満)	重大な改善すべき事項がある(特に認める)
【 127 %】 (a 評価点(※ウエイト換算後の合計)／b 標準点×100) ※小数点以下切捨て				
両病院が、高度専門医療における診療機能の強化・充実を図るとともに、地域医療への貢献や推進を積極的に行っている。多数の項目で目標を上回る成果を上げており、計画以上に進んでいると評価できる。				

② 小項目評価の集計結果

項 目		評価	ウエイト	ウエイト換算	
1 医療サービス	(1) 良質な医療の実践	こども病院	4	2	8
		市民病院	4	2	8
	(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進	こども病院	4	2	8
		市民病院	4	2	8
	(3) 災害時等の迅速かつ的確な対応	3	1	3	
2 患者サービス	(1) 患者サービスの向上	こども病院	4	2	8
		市民病院	3	2	6
	(2) 情報発信	3	1	3	
3 医療の質の向上	(1) 病院スタッフの確保と教育・研修	こども病院	4	2	8
		市民病院	4	2	8
	(2) 信頼される医療の実践	こども病院	4	2	8
		市民病院	4	2	8
合計			22	a 84	
標準点(※全ての小項目評価が3)			b 66		

③ 特筆すべき小項目評価等の判断理由

「1-(1) 良質な医療の実践 ア福岡市立こども病院」

○一部の指標で目標値を下回っているものの、NICUを増床したうえでの病床利用率の向上、HCU重症アレルギー患者の負荷試験の開始などを評価し、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「1-(1) 良質な医療の実践 イ福岡市民病院」

○一部の指標で目標値を下回っているものの、専門性の高い手術件数の大幅な増加、救急搬送件数が過去最高などを評価し、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「1-(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進 ア福岡市立こども病院」

○一部の指標で目標値を下回っているものの、「福岡県小児等在宅医療推進事業」において、退院前後の患者宅訪問件数の増加、「福岡県母体搬送コーディネーター事業」の受入実績の向上などを評価し、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「1-(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進 イ福岡市民病院」

○全ての指標で目標値を上回っており、特に、初診紹介患者数の増加、一般病院の中で高い水準の逆紹介率、脳卒中連携パス使用実績が市内急性期病院で最多なども評価し、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「2-(1) 患者サービスの向上 ア福岡市立こども病院」

○小児専門病院で導入事例が少ないHCUへの保育士配置、外来フロアの無料Wi-Fiの新規設置、退院時アンケートの高い水準を維持した目標達成などを評価し、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「3-(1) 病院スタッフの確保と教育・研修 ア福岡市立こども病院」

○「インターンシップ・病院説明会」の開催の増加やSNSを活用した人材募集などの取組みにより、看護師の採用において応募者が増加し倍率が上昇したことを評価し、年度計画を上回って実施していると判断し「評価4」とする。

「3-(1) 病院スタッフの確保と教育・研修 イ福岡市民病院」

○救急専門医の増員とシフト制勤務の導入、夜間看護補助者増員による看護体制の充実や夜勤看護師の負担軽減などの取組みを評価し、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「3-(2) 信頼される医療の実践 ア福岡市立こども病院」

○一部の指標で目標値を下回っているものの、クリニカルパス普及活動によるパス使用率の向上、小児専門病院で導入事例が少ないPICU、HCUへ専任薬剤師配置、食物アレルギー患者への栄養指導の高い実績、などを評価し、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「3-(2) 信頼される医療の実践 イ福岡市民病院」

○一部の指標で目標値を下回っているものの、福岡市民病院が主体となった医療安全対策の地域連携の開始、インシデント報告件数のうち望ましいとされる割合を超える医師報告件数の実績などを評価し、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

④ 評価にあたっての意見、指摘等

<p>《福岡市立こども病院》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病床再編により適正化され、質という観点では良い方向に向かった。 ・特定行為研修はワークシェアリングやタスク・シフティングで役に立っている。本来は看護師がタスク・シフティングのパートナーであるべきで、ここを頑張らないと働き方改革は進まない。 ・特定行為の看護師の養成が進んでいない。医師と共に働ける看護師の育成を考えているので、養成を検討していただきたい。 <p>《福岡市民病院》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・逆紹介率が非常に高く、新規入院患者数の増や医師会の高い評価につながっている。 ・1日当たりの外来患者の指標については、昨今の医療政策として、地域に返していこうという流れなので、指標が下がったとしても良質な医療を実践していないわけではない。そもそも指標として適切かということもあり、ネガティブな評価につながるものではない。 ・看護補助者を確保しにくい状況にある中で増員した点は高く評価できる。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

① 評価結果 B (おおむね計画どおり進んでいる)

S	A	B	C	D
特筆すべき進捗状況にある(特に認める)	計画以上に進んでいる(120%以上)	おおむね計画どおり進んでいる(100%以上 120%未満)	やや遅れている(100%未満)	重大な改善すべき事項がある(特に認める)
【 100 %】 (a 評価点(※ウエイト換算後の合計) / b 標準点 × 100) ※小数点以下切捨て				
地方独立行政法人の特長を生かした自律的・機動性の高い病院経営が行われている。職場環境づくりの改善にも積極的に取り組むとともに、法令に基づき内部統制も適正に維持されていることから、おおむね計画どおり進んでいると評価できる。				

② 小項目評価の集計結果

項目	評価	ウエイト	ウエイト換算
1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	3	1	3
2 事務部門の機能強化	3	1	3
3 働きがいのある職場環境づくり	3	1	3
4 法令遵守と公平性・透明性の確保	3	1	3
合計		4	a 12
標準点(※全ての小項目評価が3)		b 12	

③ 特筆すべき小項目評価等の判断理由

特になし。

④ 評価にあたっての意見、指摘等

・RPA(ロボットによる業務自動化:Robotic Process Automation)の取組みは、業種によってはうまくいかないようだが、成功していただきたい。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

① 評価結果 B (おおむね計画どおり進んでいる)

S	A	B	C	D
特筆すべき進捗状況にある (特に認める)	計画以上に進んでいる(120%以上)	おおむね計画どおり進んでいる (100%以上 120%未満)	やや遅れている (100%未満)	重大な改善すべき事項がある (特に認める)
【 112 %】 (a 評価点(※ウエイト換算後の合計)／b 標準点×100) ※小数点以下切捨て				
両病院とも増収対策や費用削減に取り組み、当期純利益を確保するとともに、経常収支比率をはじめとする経営3指標が目標値を達成したことなどから、おおむね計画どおり進んでいると評価できる。				

② 小項目評価の集計結果

項 目		評価	ウエイト	ウエイト換算	
1 経営基盤の強化	(1)経営基盤の強化と運営費負担金の縮減	こども病院	4	2	8
		市民病院	3	2	6
	(2)投資財源の確保	3	1	3	
2 収支改善	(1)収益確保	こども病院	4	2	8
		市民病院	3	2	6
	(2)費用削減	3	2	6	
合計			11	a 37	
標準点(※全ての小項目評価が3)			b 33		

③ 特筆すべき小項目評価等の判断理由

「1-(1) 経営基盤の強化と運営費負担金の縮減 ア福岡市立こども病院」
 ○全ての指標で目標値を上回っており、特に、経常収支比率は全国の小児専門病院の中で高い水準にあることなどを評価し、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

「2-(1) 収益確保 ア福岡市立こども病院」
 ○一部の指標で目標値を下回っているものの、入院収益の大幅な増加、当期純利益が過去最高となったことなどを評価し、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

④評価にあたっての意見、指摘等

・福岡市立子ども病院の収益が年間で8億円増というのはかなりの実績であり、また、これだけの当期純利益を出していることは素晴らしい。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

① 評価結果 B（おおむね計画どおり進んでいる）

S	A	B	C	D
特筆すべき進捗状況にある (特に認める)	計画以上に進んでいる(120%以上)	おおむね計画どおり進んでいる (100%以上 120%未満)	やや遅れている (100%未満)	重大な改善すべき事項がある (特に認める)
【 116 %】 (a 評価点(※ウエイト換算後の合計)／b 標準点×100) ※小数点以下切捨て				
福岡市立子ども病院においては、医療機能の充実を図るとともに、症例数で順調な成果を挙げていること、また、福岡市民病院においては、診療体制や医療機能の充実により収益確保に努めるとともに、救急搬送の受入強化など地域の基幹病院としての役割を果たしていることなどから、おおむね計画どおり進んでいると評価できる。				

② 小項目評価の集計結果

項 目	評価	ウエイト	ウエイト換算
1 福岡市立子ども病院における医療機能の充実	4	2	8
2 福岡市民病院における経営改善の推進	3	2	6
合計		4	a 14
標準点(※全ての小項目評価が3)		b 12	

③ 特筆すべき小項目評価等の判断理由

「1 福岡市立子ども病院における医療機能の充実」
 ○川崎病センターの症例数や先天性心疾患に係る手術症例数が、3年連続全国一となったほか、股関節先天性疾患など他の5つの疾患で全国トップレベルの成果を挙げたことを評価し、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

④ 評価にあたっての意見、指摘等

・福岡市立子ども病院における症例数が全国でも上位にあるものが多いことは素晴らしい。
 ・福岡市立子ども病院の取組みは常に前進するための措置をとっており、期待に十分応えている。
 ・福岡市立子ども病院が他圏域の医療も中核に抱えているという観点からの分析をやってはどうか。

(2) 小項目評価
別紙のとおり

